



「京都市生涯学習新世紀プラン“新たな展開”」 策定に当たって

京都市長 ますもとよりかね
山崎 頼兼

私たちのまち京都は、山紫水明の美しい自然に囲まれ、1200年を超える悠久の歴史に育まれた文化が息づく、世界でも稀有の歴史都市として発展して参りました。

その京都の魅力に磨きをかけ、価値を更に高めるため、私は市長就任以来、「暮らしに安らぎ、まちに華やぎ」を基本に掲げ、平成13年2月に策定致しました「京都市生涯学習新世紀プラン」に基づき、「誰もが、どこかで、自由に、何かを」学んでいただけるよう「生涯学習のまちづくり」の推進に取り組んで参りました。

この度、同プランが計画期間の中間年である5年目を終えることを受けて、これまでの本市の取組や現在の社会情勢を踏まえ、生涯学習の振興に向けた“新たな展開”を進めるため、同プランの見直し・充実を行いました。

この「京都市生涯学習新世紀プラン“新たな展開”」は、京都市社会教育委員会議での熱心な御議論、及び京都市生涯学習市民フォーラムでの貴重な御意見を十分に踏まえながら、京都市生涯学習行政推進会議において決定したものです。

近年、家庭の教育力の低下や地域コミュニティの希薄化が課題となっております。家庭や地域は、正に次代を担う人づくりの主体であり、子どもたちが自立し、社会の発展に主体的に寄与する力を培う過程において、何より重要なものです。本市では、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、子どもたちを健やかに育むための大人みずからの行動規範を示した「子どもを共に育む京都市民憲章」を制定し、子どもたちの健やかな育ちのために何が求められているのかということを、市民全体で考え、行動する輪を広げていく取組を進めています。

この計画の副題であります「あなたの学びを地域の絆に」という言葉のとおり、学習の成果は、地域に還元することで、「地域力」の向上や「次世代を担う子ども達の育成」に大きな役割を果たすものです。今回策定しました計画を着実に推進することで、「まち全体がみんなの学びや」となり、「学習がより身近にあり、出会いと生きがいに満ち満ちたまち」を実現できるよう力を尽くして参る所存でございますので、市民の皆様のより一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「21世紀は生涯学習の時代」です。共に希望に満ちた21世紀の京都の新しいまちづくりに挑戦して参りましょう。